

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1C				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）

- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。

- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1D				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）
- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。
- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1E				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）
- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。
- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1G				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）
- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。
- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1～3年次生】経営情報学部経営学科 【1～3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 専門 専門 × ×	× × × 必修 必修 × ×	× × × 1年 1年 × ×
授業科目	担当教員						
基礎ゼミナール 1H	佐々木 桐子	2	前期				

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）
 - ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う
- 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。
- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナールII				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミIでは、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）

- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて4時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1クラス20名程度）で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。

- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1A				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）

- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。

- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1J				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）

- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。

- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1K				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）
- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。
- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410034	X-31-B-1-410034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×		
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年		
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年		
基礎ゼミナール 1B				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×		
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）

- ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う

具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
- ・アイスブレーク
- ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
- ・図書館利用のガイダンス
- ・グループワーク
- ・その他（担当教員の独自実施項目）

【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 20 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。

- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
○		○

その他

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1～3年次生】経営情報学部経営学科 【1～3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × 専門 専門 × ×	× × × 必修 必修 × ×	× × × 1年 1年 × ×
授業科目	担当教員						
基礎ゼミナール 1F	小林 満男	2	前期				

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。

- ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築）
 - ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う
- 具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。

内容

下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。

- ・履修指導
 - ・アイスブレーク
 - ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル）
 - ・図書館利用のガイダンス
 - ・グループワーク
 - ・その他（担当教員の独自実施項目）
- 【毎回予習・復習に合わせて4時間】

使用予定テキスト

なし。

ゼミの進め方

本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得することを目的としている。演習は少人数のクラス（1クラス20名程度）で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。

成績評価基準

- ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。
- ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。

ゼミ選択上のアドバイス

特になし

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習